

学発番号: 学18-039★
事業名: 心電図講習会(日臨技推進事業研修会)
日時: 平成31年1月17日(木) 18:30~20:30
場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚室
主題1: 「心電図中級編 ~この心電図どこまで考えますか?~」
講師1: 横山 健輔 技師(京都桂病院)
講師2: 多田 淳史 技師(京都工場保健会)
講師3: 三宅 穂岳 技師(京都民医連中央病院)
講師4: 讃良 梨沙 技師(京都桂病院)
参加数: 総数:52名(京臨技会員:50名)
報告者: 柘田 昌未(康生会武田病院 検査科)

以下、講演内容など

2019年1月17日に京都保健衛生専門学校にて今年初の生理検査部門研修会「心電図検査研修会」が行われました。参加人数は60名程度と、とても盛況でした。今回の勉強会は通常の勉強会とは異なり、問題として提出された心電図をパネルに表示し、まずは参加者に何の心電図であるかを考えてもらい、その後3名のパネラーの方達が順番に気になる点や判読のポイントを話し、最後に答えが表示され、司会者の方から解説されるという形式でした。出題数は6問程度で、「心室内変行伝導を伴ったAPC」や「移動性PM」、「等頻度房室解離」などの症例が出されました。普段ルーチンではあまり見ないような症例が沢山出され、参加者の中には難しいと感じる方もおられた様子でしたが、問題を一度自分で考えた後に、パネラーの方々から詳細な解説があったので、普通の講義よりも分かりやすく、アットホームな雰囲気があり、刺激的で楽しかったです。また、自施設では中々遭遇しないような心電図を学ぶことが出来るため、大変勉強になりました。研修会の最後に、若手技師が立ち上げた心電図を学び、情報共有を行う場である「心電図ひよこの会」の告知もあり、職種間や他施設間の垣根を越え、学びを深める機会が増えていっていると思いました。

今回の勉強会は、参加者が判読した後にパネラーの方達が順番に気になる点や判読のポイントを話し、最後に答えが表示され、司会者の方から解説されるという形式でした。普段ルーチンではあまり見ないような症例が沢山出され、参加者の中には難しいと感じる方もおられた様子でしたが、問題を一度自分で考えた後に、パネラーの方々から詳細な解説があったので、普通の講義よりも分かりやすく、アットホームな雰囲気があり、刺激的で楽しかったです。また、自施設では中々遭遇しないような心電図を学ぶことが出来るため、大変勉強になりました。